

【社外パーツに交換してある車輛の購入にあたっての注意点とお約束】

社外パーツを取り付けた車輛に起こる主なトラブルと原因になります。

当社ではトラブル防止の為に純正パーツへの交換を推奨しております。

社外パーツへ交換、取付けをした事による弊害となりますので、保証期間内であっても保証適用外とさせていただきます。

□ 社外吸排気パーツ交換車による始動性悪化・キャブレターセッティング・次回車検不適合・燃費低下

・交換によりエンジンの吸排気バランスが崩れることになり、エンジンに点火するスパークプラグがくすぶりやすく、カブルといわれる症状が起こりやすくなります。

それによりエンジン始動が困難になる場合があります。

・交換によりエンジンの吸排気バランスが崩れることになり、パワーがノーマルよりも大きく低下する領域があります。主に高回転域のパワー向上を目的に作られている為、特に低回転でパワーダウンの症状が出る事が多いです。

・車検適合基準を目的として作られている吸排気パーツと比べ、消音機能などの経年劣化も早くなっております。お引き渡し時点では車検適合の状態となっておりますが、次回車検時までその状態を維持できるかは不明です。排気音量・排気ガス規制などは公道を走るにあたって交通違反の対象となります。

・キャブレターセッティングの吸排気のバランスを取る為に燃料の供給量を増やす事がございます。その場合、燃費が低下してしまいます。

□ 灯火類交換による製品不良・接触不良等

・社外ヘッドライトバルブ(HID等)交換車

・バルブ以外にも多数の機器がございますので機器不良によりトラブルの可能性が高まります。

・車検時にはヘッドライト光量を測定しなければならないのですが、白い光は機械が感知し辛い事から車検不適合となる場合があります。

・社外ウインカー交換車

・アース配線接続箇所が外部になる場合があり、腐食による接触不良を起こしやすいです。

・ウインカー本体部の防水性能が悪く内部が腐食し、バルブ交換が困難になる場合があります。

・テールランプ交換車

・純正テールランプと比べ耐久性が低下しております。走行中の振動により接触不良や取付けステーの破損により脱落する場合があります。

・LEDランプの場合、多数のLED球のうち一つでも球切れを起こすと車検不適合となってしまいます。LED球の交換はできない為、テールランプ本体を交換する必要があります。

□ 社外フェンダーレスの亀裂・破損・反射板の取付け

・純正フェンダーと比べ耐久性が低下しております。走行中の振動により亀裂が生じ破損、脱落する場合がございます。

・ネイキッド系の一部の車種では、純正フェンダーにあるシートカウル用の取付けステーが無くなってしまいます。その為、シートとシートカウルに隙間が出来てしまう場合があります。

・純正フェンダーに取付けられている反射板が無くなってしまいます。当社では貼り付けタイプ反射板を取付けてお渡ししておりますが、経年劣化により剥がれてしまう場合があります。

□ ハンドル交換車輛のタンクへの接触・配線やワイヤーのトラブル

・セパレートハンドル

純正時バーハンドルタイプの車輛にセパレートハンドルを取付けると、ハンドルを切った際にタンクと接触する場合があります。この際ハンドルを握っていると怪我の恐れがあります。

・アップハンドル

アップハンドルに交換されている場合、ハンドルに伴い配線やワイヤーの交換が必要となります。短い場合にはハンドルを切った際にアクセルが開いてしまうといったトラブルや、長い場合には弛んだワイヤーがウインカー等に引っかかりハンドルが戻せなくなる、といった事もあり危険です。適正な長さの物に交換して下さい。

□ 社外バックステップ交換車輛のリヤブレーキの効き低減

・ブレーキロッドの角度が変わる為、マスターシリンダーへの力が上手く加わりません。その為リヤブレーキの効きが低減する場合があります。

□ ロングスイングアーム交換車輛の他部接触・チェーントラブル・ブレーキトラブル

・タイヤ位置が大幅に変更しております。その為、段差等でサスペンションがストロークした際に他部へ接触する場合があります。

・ロングスイングアームと併せてチェーンも交換(延長)されております。チェーンの長さ、スイングアームのストローク範囲を考慮してチェーン調整を行う必要がある為、純正規格同等のチェーン調整をする事ができません。それに伴い純正と比べチェーンの摩耗も早まっております。また、交換の際には純正サイズの物では長さが足りず交換する事ができません。

・ロングスイングアームと併せてブレーキロッドも交換(延長)されております。ロッドが長くなった事により力が逃げやすく、リヤブレーキの効きが低減する場合があります。

□ バッテリーレス・サイズダウン車輛の電装系トラブル

・蓄電容量低下の為、常に発電をさせなければなりません。その為、始動時のセルスタート、アイドリング中のヘッドライトやウインカー動作に支障をきたします。

【社外パーツに交換してある車輛の購入にあたっての注意点とお約束】

について全て確認しました。

年 月 日

署名